

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●マイルチャンピオンシップはモーリスが優勝

11月22日(日)の5回京都6日・第11レースとしておこなわれたマイルチャンピオンシップ(G I)ではモーリス(牡4歳/美浦・堀宣行厩舎)が優勝、安田記念に続く春秋マイルG I制覇を果たしました。同一年での両レース制覇は2007年ダイワメジャー以来8年ぶり6頭目のこと。またモーリスは安田記念以来、中169日の出走による勝利で、これは1988年サッカーボーイの中92日を上回り、同レース史上もっとも長い出走間隔での勝利となります。

●M. デムエロ騎手、C. ルメール騎手がJRA年間100勝を達成

11月21日(土)の5回京都5日・第3レースではヴィプロスが1着となり、同馬に騎乗したミルコ・デムエロ騎手(栗東・フリー)は、外国人騎手としては史上初となるJRA年間100勝を達成しました。11月23日(祝・月)の5回京都7日・第12レースではグランカマラードが1着となり、同馬に騎乗したクリストフルメール騎手(栗東・フリー)も自身初となるJRA年間100勝を達成しました。

●H. ボウマン騎手がJRA初騎乗・初勝利をマーク

11月21日(土)の5回京都5日・第11レースとしておこなわれたアンドロメダSではトーセンレーヴが1着となり、同馬に騎乗したヒュー・ボウマン騎手(オーストラリア)は、JRA初騎乗で初勝利をあげました。初騎乗・初勝利をあげた外国人騎手は、2011年のウンベルト・リスボリ騎手以来となります。

●松若風馬騎手がJRA通算100勝を達成

11月23日(祝・月)の5回京都7日・第3レースではローザルージュが1着となり、同馬に騎乗した松若風馬騎手(栗東・音無秀孝厩舎)は、現役82人目となるJRA通算100勝(1236戦目)を達成しました。

●蛭名正義騎手がJRA通算1万9000回騎乗を達成

11月23日(祝・月)の5回東京7日・第6レースでフィラーレに騎乗した蛭名正義騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で、武豊騎手、柴田善臣騎手に続いて史上3人目となるJRA通算1万9000回騎乗を達成しました。

●浅見秀一調教師がJRA通算500勝を達成

11月23日(祝・月)の5回京都7日・第9レースとしておこなわれた秋明菊賞ではアットザシーサイドが1着となり、同馬を管理する浅見秀一調教師(栗東)は、現役24人目となるJRA通算500勝(5814戦目)を達成しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●サウンドスカイが兵庫ジュニアグランプリ(園田)を快勝

兵庫ジュニアグランプリ(JpnII、2歳、11月25日、園田、1400m)は、序盤中団から1~2コーナーで好位に取り付いたサウンドスカイ(戸崎圭太騎手、牡、父ディーブスカイ)が直線半ばで差し切り、1番人気に応えました。逃げた3番人気のコウエイテンマが1馬身1/2差の2着、2番人気のオデュッセウスは更に5馬身遅れの3着、マジェリガールが4着に入り、JRA所属馬が上位を独占しています。

●ダービーグランプリ(水沢)は船橋のストゥディウム

ダービーグランプリ(11月23日、水沢、2000m)は、9番手から追いつけた4番人気の船橋からの遠征馬ストゥディウム(牡、父ルースリンド)が3、4コーナー中間で一気に先頭に立つと、タイムビヨンド(北海道)を3馬身引き離して楽勝。逃げた1番人気のオウマイム(船橋)は差のある4着、2番人気のラッキープリンス(浦和)は6着に敗れました。

●ソリタリーキングらが出走、12月2日の浦和記念(浦和)

浦和記念(JpnII、12月2日、浦和、2000m)は、JRA所属馬ではソリタリーキング、アウォーディー、ドコフクカゼ、マイネルクロップの順に有力視されますが、過去の傾向から、今年の優勝馬サミットストーン(船橋)、ユーロビート(大井)、出走すればハッピーズプリント(大井)の地方勢にもチャンスがありそうです。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●香港年末の国際レースへ、エイブルフレンドは前哨戦で3着

12月13日の香港国際レースを前に、香港C、マイル、スプリントの前哨戦(すべて国際G2)が11月21日、シャティン競馬場で行われました。まずジョッキークラブC(芝2000m)は、12/13年の香港年度代表馬で、今年の香港C2着のミリタリーアタック(騾7歳、父オラトリオ、2番人気)が、中位の内から馬群をさばいて伸び、ブレイジングスピード(4月の国際G1クイーンエリザベス2世Cを勝利)をアタマ差に差し切りました。ジョッキークラブマイル(芝1600m)は人気薄のビューティーフレム(騾5歳、父フットステップスインザサンド)が先行して抜け出し、大本命のエイブルフレンド(14/15年の香港年度代表馬で、今年の香港マイル優勝)は後方の内から伸び切れず、1着から1馬身1/2差の3着。ジョッキークラブスプリント(芝1200m)は、2月の香港限定G1チェアマンズスプリントプライズを勝ち、1番人気のゴールドファン(騾6歳、父レヴィエディコロリ)が中位の外から差し切りました。